

M o r e ! H O K K A I D O

K n o w M o r e a b o u t H o k k a i d o !

北海道開拓の歴史と
アイヌ文化を知って、
もう一つの北海道の魅力を
探し出そう!

公益社団法人 北海道観光振興機構



北海道白老町に2020 OPEN!



北海道観光PRキャラクター
キュンちゃん



1. にしん御殿 小樽貴賓館 旧青山別邸



2. 小樽市総合博物館(本館)



3. 小樽市総合博物館(運河館)



4. 北海道博物館



5. 北海道開拓の村



6. サッポロビール博物館



7. 札幌開拓使麦酒醸造所 見学館



8. 旭川市博物館



9. 北鎮記念館



10. 月形樺戸博物館



11. 夕張市石炭博物館



広大な大地が作る絶景や大自然が育んだ海山の幸は、北海道の魅力として誰もが知るところです。
 そんな多くの北海道ファンの皆様に、さらに北海道の開拓の歴史や先住民族アイヌの文化などを広く、
 深く知っていただければ、もっと北海道を楽しんで満足してもらえると思います。
 2020年4月、白老町にオープンする「民族共生象徴空間〈ウポポイ〉」を一層楽しんでいただくために、
 北海道各地の歴史や文化をお伝えする博物館や各種施設をご紹介します。
 もう一つの北海道の魅力<MORE! HOKKAIDO>を、探し当ててください。

道内各地のスポットへ。 移動時間早わかりガイド

〓 高速道路 〓 一般道路
 〓 国道
 〓 主要スポットの移動ルート
※自動車を利用した場合(有料道路使用)の2地点間の最短ルートをおよそで表示しています。
 ※通行規制等ない場合の夏季の目安移動時間です。



23. 川湯エコミュージアムセンター



24. 硫黄山レストハウス



25. 釧路市博物館



26. 釧路湿原展望台



14. 平取町立二風谷アイヌ文化博物館



15. 新ひだか町アイヌ民俗資料館



16. 新ひだか町博物館



17. 博物館 網走監獄



18. 網走刑務所



19. 天都山展望台



20. 阿寒湖アイヌシアター(イコロ)



21. 阿寒観光汽船



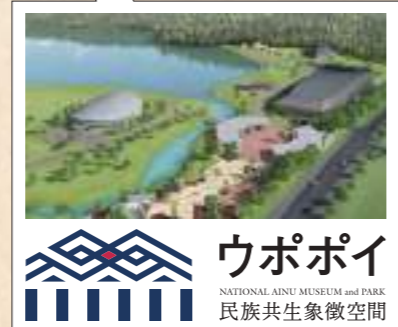
22. 弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館



12. そらち 炭鉱の記憶マネジメントセンター



13. 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美瑛



*『北海道の歴史と文化』の取材記事が掲載されたサイトもご覧ください。▶▶▶
<http://goldenkamuy.visit-hokkaido.jp/learn/>



CONTENTS

小樽 エリア	① にしん御殿 小樽貴賓館	P.04	日高 エリア	⑭ 平取町立二風谷アイヌ文化博物館	P.09
	② 小樽市総合博物館(本館)			⑮ 新ひだか町アイヌ民俗資料館	
	③ 小樽市総合博物館(運河館)			⑯ 新ひだか町博物館	
札幌 エリア	④ 北海道博物館	P.05	網走 エリア	⑰ 博物館 網走監獄	P.10
	⑤ 北海道開拓の村			⑱ 網走刑務所	
	⑥ サッポロビール博物館	P.06		⑲ 天都山展望台	
	⑦ 札幌開拓使麦酒醸造所 見学館			⑳ 阿寒湖アイヌシアター(イコロ)	
旭川 エリア	⑧ 旭川市博物館	P.07	阿寒湖 エリア	㉑ 阿寒観光汽船	P.11
	⑨ 北鎮記念館			㉒ 弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館	
空知 エリア	⑩ 月形樺戸博物館	P.08	弟子屈 エリア	㉓ 川湯エコミュージアムセンター	P.12
	⑪ 夕張市石炭博物館			㉔ 硫黄山レストハウス	
	⑫ そらち 炭鉱の記憶マネジメントセンター			㉕ 釧路市博物館	
	⑬ 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄		㉖ 釧路湿原展望台	P.13	

小樽 エリア

札幌市北部を流れる新川の河口付近の旧地名「ヲタオルナイ(砂の中の川)」が語源とされる小樽。この付近にはアイヌの人々が住んでおり、松前藩により「ヲタルナイ場所」とされ、後に今の小樽市に移転。明治以降は小樽と呼ぶようになりました。

① にしん御殿 小樽貴賓館 旧青山別邸

〔国登録有形文化財〕



ニシン漁で巨万の富を築いた青山家が、お金に糸目をつけず贅をつくして建てた別荘。積雪の多い北海道では珍しい瓦葺き屋根、手彫彫刻、七宝焼の引き手、紫檀や白檀を使った書院づくりの床の間、うぐいす張りの廊下など、一流の職人たちが技を競い合った豪華な造りは数え上げるときりがありません。狩野派の流れを汲む日本画の絵師たちによるふすま絵や書、枯山水の庭園なども見事で、国の登録有形文化財に指定されています。

見学時間の目安
約30分

9:00~17:00(最終受付16:30)
大人1,000円、小学生500円(税抜)

年中無休(年末年始を除く)
北海道小樽市祝津3丁目63
0134-24-0024

小樽市総合博物館(②本館・③運河館)



②本館 / 北海道を代表する50両もの鉄道車両や国の重要文化財「旧手宮鉄道施設」などを展示。施設の構内や周辺には幌内鉄道で使われてきた機関車の整備や石炭の輸送に関わる資料も多数あり、鉄道の歴史も学ぶことができます。

9:30~17:00
一般 400円(冬季300円)、高校生・市内在住の70歳以上200円(冬季150円)、中学生以下無料
火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
北海道小樽市手宮1丁目3番6号
0134-33-2523



③運河館 / 明治後期から昭和30年代まで、全国屈指の経済・港湾都市として地位を確立した小樽の歴史や自然を貴重な資料で紹介。旧小樽倉庫を利用した歴史的な建物で、交易都市の歩みの奥深さに触れてみてはいかがでしょうか。

9:30~17:00
一般300円、高校生・市内在住の70歳以上150円、中学生以下無料
年中無休(年末年始を除く)
北海道小樽市色内2丁目1番20号
0134-22-1258

〔表の見方〕 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

2020.4.24
OPEN



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

アイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして自然豊かな白老町ポロト湖畔に誕生する「ウポポイ(民族共生象徴空間)」は、先住民アイヌの歴史や文化に関する幅広い理解の促進を図り、未来へ向けてアイヌ文化の継承と新たなアイヌ文化の創造発展を推進。中核施設として「国立アイヌ民族博物館」や「国立民族共生公園」が整備されます。



白老町ポロト湖畔から、
世界へ、未来へ、
アイヌ文化を発信。

※本イメージ図は、設計段階における案であり、変更の可能性があります。

(提供:文化庁)

国立アイヌ民族博物館

〈基本理念〉

国立アイヌ民族博物館では、先住民であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与します。

国立民族共生公園

〈基本理念〉

国立民族共生公園は、アイヌの方々との対話や交流を通じてアイヌ文化を体感できる体験型のフィールドミュージアムです。豊かな自然を活用した憩いの場は、異なる民族が互いに尊重し共生する社会のシンボルとなるような空間を目指します。

○営業時間 | 平日9:00~18:00 / 土・日・祝日および7月20日~8月31日9:00~20:00 / 11月1日~3月31日9:00~17:00
○休業日 | 月曜日および年末年始(月曜日が祝日の場合はその翌日)
○入場料 | 大人1,200円 / 高校生600円 / 中学生以下無料(いずれも税込価格 / 団体割引あり)

お問合せ先 (公財)アイヌ民族文化財団民族共生象徴空間運営本部
●メール/info@ainu-upopoy.jp ●電話番号/011-206-7427 ●受付時間/平日9:00~17:00
ウポポイ 検索 <https://ainu-upopoy.jp/>

アクセス

にしん御殿 小樽貴賓館 旧青山別邸

小樽市総合博物館(本館)

小樽市総合博物館(運河館)



札幌 エリア

豊平川を指すアイヌ語が由来で、「サッ・ポロ・ペッ(乾いた・大きな・川)」説、「サリ・ポロ・ペッ(その葦原が・広大な・川)」説など諸説あります。扇状地を流れる中流部は前者の意味に近く、低湿地を流れる下流部は後者に近いように見えます。

4 北海道博物館



北海道開拓記念館と北海道立アイヌ民族文化研究センターを統合し平成27年に開館した道立の総合博物館。展示全体のコンセプトは「北東アジアの中の北海道」と「自然と人との関わり」。3,000㎡を使った常設展示では、北海道の自然、アイヌの文化、政治史、移住者の生活、産業の発展など、さまざまな切り口から北海道の長い歴史を総合的に学ぶことができます。また、触ることのできる模型など体験型の展示を通じて、小・中学生にも理解しやすいように構成され、多くの家族連れが訪れています。地元のレンガをふんだんに使って造られた美しい外観や、ゆったりとした空間デザインも魅力です。

見学時間の目安
約60分～90分

5月～9月	9:30～17:00
10月～4月	9:30～16:30
大人	600円、大学・高校生300円、小中学生以下、65歳以上無料
ホームページでご確認ください	
住 北海道札幌市厚別区厚別町小野幌53-2	
☎ 011-898-0466	

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

5 北海道開拓の村



明治から昭和初期にかけて建てられた北海道各地の建物を移築・復元した野外博物館。市街地群、漁村群、農村群、山村群の4つのエリアで構成され、52棟の建物が本物の街や村のように配置されています。建物の内部には家具や食器などの生活道具、実際に使われていた農具や工具が置かれ、当時のリアルな暮らしぶりや産業、文化を体感できます。一部の建物では人形と音声で日常の一場面を再現。その会話から現代とは違う当時の「当たり前」を知ることができるのも魅力です。市街地群と農村群を結ぶ区間では、夏季は馬車鉄道、冬季は馬そりが運行。とても広いので、ぜひ余裕のあるスケジュールを。

見学時間の目安
約90分～120分

5月～9月	9:00～17:00
10月～4月	9:00～16:30
大人	800円、大・高校生600円、中学生以下・65歳以上は無料
ホームページでご確認ください	
住 北海道札幌市厚別区厚別町小野幌50-1	
☎ 011-898-2692	

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

6 サッポロビール博物館



JR苗穂駅に近いサッポロガーデンパーク内にある、ビールをテーマにした日本で唯一の博物館。サッポロビールの約140年に及ぶ歴史を分かりやすく伝えます。赤レンガが美しい建物は、もとは砂糖工場として明治23年に建てられたもので、明治36年に買い取り、麦芽を作る工場に改装しました。現在、北海道遺産に指定されています。創業期を支えた人物の像、歴代ラベルやポスター、かつての工場の模型などが展示され、有料のテイスティングラウンジではビールをじっくり飲み比べることも可能です。



見学時間の目安
約30分～60分

11:00～20:00(入館は19時30分まで)
無料(飲料のテイスティング、おつまみは有料になります。)
年末年始、臨時休館日 ※毎週月曜日(祝日の場合は翌日)は、自由見学のみ可(飲料のテイスティングも休業)
住 北海道札幌市東区北7条東9丁目 サッポロガーデンパーク内
☎ 011-748-1876

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

7 札幌開拓使麦酒醸造所 見学館



現在サッポロファクトリーが建つ場所は、開拓使麦酒醸造所が誕生してから、札幌第一工場として平成元年までビールを生産していたサッポロビール発祥の地。その一角には、明治時代の製法を再現したビールを製造し続けるブルワリーがあります。実際に作業中の仕込釜やろ過槽などを見学できるほか、隣接する「売捌所」では造りたての伝統の味を味わうことも可能。晴れた日には、煙突広場でビールを楽しむこともできます。また、日本のビール造りのあゆみを貴重な写真やパネルで紹介しています。



見学時間の目安
約15分

ホームページでご確認ください
無料
不定休 ※12月31日休業 ホームページでご確認ください
住 北海道札幌市中央区北2条東4丁目 サッポロファクトリー-レンガ館1F
☎ 011-252-8231

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

アクセス

北海道博物館

サッポロビール博物館

札幌開拓使麦酒醸造所 見学館

北海道開拓の村



旭川 エリア

旭川駅の近くを流れる忠別川に由来。アイヌの人により「チュペツ(波だつ川)」または「チュクペツ(秋の川)」と呼ばれていた川の名が、後に発音の変化などから「チュパペツ(日の川)」となりました。これを意識して「旭川」と命名されたとも言われています。

8 旭川市博物館



上川アイヌの資料展示のほか、日本では広く知られていない中国の史料によるアイヌの紹介もしています。元寇で知られる「元史」には、元軍が度々サハリンでアイヌを攻撃し、侵入を排除した記録も。資料の多くはアイヌ研究者の河野家が親子三代にわたり収集した「河野コレクション」で、貴重なアイヌ資料コレクションと言われています。アイヌ民族のほか、サハリンや大陸の民族の衣装や小物もあり、現代にも通じるそのセンスの良さをご覧ください。

見学時間の目安
約60分～90分



☎ 9:00～17:00
👤 大人300円、高校生200円、小中学生無料
🌐 ホームページでご確認ください
📍 北海道旭川市神楽3条7丁目1 旭川市大雪クリスタルホール内
☎ 0166-69-2004

9 北鎮記念館



203高地争奪戦に参加した古老が当時を「現世地獄の姿」と振り返った話や、軍隊手帳、白襪(たすき)決死隊、小説「肉弾」など、日露戦争を美化することなく客観的に事実を紹介。屯田兵時代の農機具や村田銃、三八式歩兵銃、軍服、酒のラベルなど、現物や再現模型の展示品も豊富で、今も多くの貴重な資料が寄贈されています。北海道の防衛と開拓に携わった先人たちの労苦と功績を偲ぶとともに、その志の継承と歴史を通じて防衛に対する認識と理解を深めることができます。

見学時間の目安
約30分～120分



☎ 夏季(4月～10月) 9:00～17:00 冬季(11月～3月) 9:30～16:00
👤 無料
📅 毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始
📍 北海道旭川市春光町国有無番地(国道40号線沿い)
☎ 0166-51-6111(北鎮記念館呼出)

〈表の見方〉 ☎ 営業時間 / 👤 入館料 / 📅 休館日 / 📍 住所 / ☎ 電話番号

アクセス



空知 エリア

ソラチ(滝下る所:空知川に大きな滝があるため)の説と、ソラチペツ(滝がごちゃごちゃ落ちていてる川:空知川中流に空知大滝があり、何条にも分かれて落ちていてる)を和人がソラチと呼んだ説があります。

10 月形樺戸博物館



見学時間の目安
約60分

歴代の典獄や樺戸集治監を实物資料やジオラマでドラマチックに紹介。実際に使われていた銃や看守刀、囚衣、鉄玉、囚人が制作した調度品などが数多く展示されており、当時のリアルを体感できます。

☎ (4月～11月30日)9:30～17:00無休
👤 大人300円、大・高校生150円、小中学生100円、団体(10名以上)大人250円、大・高校生100円、小中学生50円
📅 冬季休館(12月1日～3月31日)
📍 北海道樺戸郡月形町1219
☎ 0126-53-2399

11 夕張市石炭博物館

※模擬坑道・坑夫像・天竜坑周辺は立ち入ることができません。(2019年8月現在)



見学時間の目安
約40分

明治から炭鉱と共に発展した街や人の暮らしを紹介。当時の大型機械を一部実際に動かしており、その臨場感は圧巻です。炭鉱経験者の解説も聞けるため、リアルな話を聞くことができます。

☎ 10:00～17:00
👤 大人700円、団体650円(20名様以上) 子供420円
📅 火曜日(冬季休館11月上旬～4月下旬)
📍 北海道夕張市高松7番地1
☎ 0123-52-5500

12 そらち 炭鉱の記憶マネジメントセンター



見学時間の目安
約20分～30分

明治42年の札幌軟石造の蔵を改装した施設。炭鉱で使用していた道具や開拓の歴史を伝えるパネル、周辺のパンフレットなどもあり、情報のハブステーションとしても多くの人々に利用されています。

☎ 10:30～17:30
👤 無料
📅 月・火曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始
📍 北海道岩見沢市1条西4丁目3
☎ 0126-24-9901

13 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄



見学時間の目安
約30分～120分

小学校を再生した美唄出身彫刻家安田侃の美術館。山に囲まれた空間に彫刻が点在し、有数の炭鉱町だった当時の雰囲気が残る、ここでしか味わえない時間。散策後は、併設のカフェで休憩を。

☎ 9:00～17:00
👤 無料(任意によるご寄附をお願いしています)
📅 毎週火曜日、祝日の翌日(日曜日は除く)、12月31日～1月3日
📍 北海道美唄市落合町栄町
☎ 0126-63-3137

〈表の見方〉 ☎ 営業時間 / 👤 入館料 / 📅 休館日 / 📍 住所 / ☎ 電話番号

アクセス



日高 エリア

「北海道」の名付け親である松浦武四郎が、1869年に提出した国名建議書で「土地南向きにして霧等も早く相晴れ、天日を早くより仰ぎおり候こと故」として、8世紀の歴史書の日本書紀に登場する蝦夷地の日高見国に当地をあてて名付けました。

14 平取町立二風谷アイヌ文化博物館



縄文時代から独自の文化を築き、北海道の豊かな自然で暮らしたアイヌの文化を色濃く受け継ぐ日高エリア。アイヌに生活文化を教えたといわれる神「オキクルミカムイ」伝説が残る山々がある平取町二風谷で、復元したアイヌの住居や、実際に使われていた民具などを数多く展示しています。この世の全ての物に靈魂「カムイ」が宿ると考え、民具に美しく精巧な文様を施し大切にきてきたアイヌの高い精神性や文化、世界観を身近に感じられる場所です。

見学時間の目安
約30分～60分

9:00～16:30
大人400円、中・小学生以下150円
ホームページでご確認ください
北海道沙流郡平取町二風谷55
01457-2-28929

15 新ひだか町アイヌ民俗資料館



「シャクシャインの戦い」に関わる史跡がある真歌公園に建つ資料館。戦いを紹介するパネルや乗れる動く船、祭祀具など珍しいアイヌの資料や触れられる展示もあり、記念撮影も人気です。



見学時間の目安
約20分

9:00～17:00
※冬季休館(12月1日～4月30日)
無料
月曜、休日の翌日、12月1日～翌4月30日
北海道日高郡新ひだか町静内真歌7-1 真歌公園内
0146-43-3094

16 新ひだか町博物館



ビジュアルにこだわった美しい展示で新ひだか町を資料や映像、音声で紹介。幼い頃和にもらった味噌がオソマに見えたとする有名なアイヌ文化伝承者の「口承文芸」の音声を聴くこともできます。



見学時間の目安
約30分～40分

10:00～18:00
無料
月曜日、休日の翌日、年末年始
北海道日高郡新ひだか町静内山手町3-1-1
0146-42-0394

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

アクセス



網走 エリア

アパシリ(漏る地:洞窟で滴が落ちる様子)説、チパシリ(「チパシリ、チパシリ」と岩神が歌い舞い、鳥が鳴き飛んだ伝説)説、チパシリ(我らが見付けたる岩:網走湖岸にあった笠をかぶった人のような形の信仰対象の岩)説など、由来には諸説あります。

17 博物館 網走監獄



防衛と開拓のために囚人が過酷な労働を強いられていた、明治の網走刑務所を移築し保存公開している歴史博物館。細部に至り意匠的な工夫がされた明治期の官庁建築の典型で、一部が国指定重要文化財に指定されています。舎房と中央見張所は木造行刑建築物として世界最古で最大の規模を誇り、天窓では「昭和の脱獄王」の異名で知られる白鳥由栄の脱獄を再現。瓦屋根などの外装やかまどなど当時の職員の暮らしも紹介しています。



見学時間の目安
約60分～120分

4月～9月 8:30～18:00
10月～3月 9:00～17:00
大人1,080円、大学・高校生750円、中・小学生540円
年中無休
北海道網走市呼人1-1
0152-45-2411

18 網走刑務所



現在も使用されているため内部の見学はできませんが、「刑務作業製品展示場」は入場が可能。展示場への道の途中、網走川のほとりで長い歴史が刻み込まれた赤レンガの壁を見ることができます。



2月～11月 平日・祝日 10:00～15:45
土曜・日曜 9:00～15:45
無料
12月・1月
北海道網走市字三眺

19 天都山展望台



天都山から、網走湖や能取湖、オホーツク海、知床連山を一望できる展望台。館内には展望レストランやオホーツク流水館、観光情報コーナーなどがあり、塩キャラメルソフトクリームが大人気です。



見学時間の目安
約30分～60分

5～10月 8:30～18:00
11～4月 9:00～16:30
12月29日～1月5日 10:00～15:00
(個人税別)大人700円、高校生600円、小・中学生500円
年中無休
北海道網走市天都山
0152-43-5951

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

アクセス



阿寒湖 エリア

「阿寒」の語源は、アイヌ語の「アカム(車輪の如き:雄阿寒岳と雌阿寒岳の景観から)」という説や、「ラカン(ウグイの産卵)」という説、雄阿寒岳が大地震の際も動かなかったことを示す「アカン(不動の)」という説など、諸説あります。

20 阿寒湖アイヌシアター〈イコロ〉



道内最大規模のアイヌ集落「阿寒湖アイヌコタン」の坂の上に建つアイヌ文化専用劇場。ユネスコ世界無形文化遺産「アイヌ古式舞踊」などの定番演目に加え、新演目「阿寒ユーカラ ロストカムイ」は、少数民族を撮影し続ける注目の写真家ヨシダナギ氏がキービジュアルを担当。アイヌが畏怖し敬ったホロケウカムイ(エゾオオカミ)への世界観を、現代舞踊やデジタルアートも組み合わせて新演目に演出し各方面から注目を集めています。

見学時間の目安
約30分~40分

ステージ内容や時間はホームページでご確認ください
ホームページでご確認ください
北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84
0154-67-2727

21 阿寒観光汽船



球状まりもに出会える阿寒湖の島を目指す観光汽船は、雄大な原生の自然を楽しめるほか、船内にはアイヌの生活用品などを展示。さながら「動くミニ博物館」といった空間です。朝6時の始発便は「阿寒湖早朝遊覧」と題し、アイヌ文化継承者が「語りべ」を担当する期間限定プログラムを開催。船窓の眺めを背景に、語り継がれた伝説や寓話に触れたり、時にはアイヌ楽器の音色を聴き入ることができる、早朝だけの特別な時間です。

見学時間の目安
約60分~85分

6:00~18:00(季節によって変動あり)
運賃/大人2,000円、小学生1,040円
運航期間中無休(天候によっては運休することがあります)
北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目5-20
0154-67-2511

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

弟子屈 エリア

アイヌ語でテシカカ。地名に残るテシの多くは、岩磐が川を横断して、テシ(川を横断する形で杭を何本も立てそこに柳の枝を編んだものを貼った漁猟施設)の様な姿をした場所で、テシカはこの岩磐の所を意味し、その岸というため「カ(岸)」をつけた、という説があります。

22 弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民俗資料館

※冬季休館(4月上旬~11月)



古くからコタン(集落)があり、アイヌ伝説が多く残る自然豊かな町にある資料館。クラフト作品としても楽しめる展示品のほか、アイヌ衣装試着コーナーで記念撮影をしたり、アイヌ文様のコースター作りなど、今も受け継がれるアイヌ文化を体験できます。資料館の天井部分をスクリーンとして上映するヒグマのイオマンテ(霊おくり)映像も貴重。昭和50年代の記録写真を中心に丁寧に紹介しており、アイヌの思想に触れることができます。

見学時間の目安
約30分~90分

9:00~17:00(最終入場16:30)
大人(高校生以上)420円、
小人(小・中学生)280円、
団体(20名以上)大人340円、小人200円
期間中無休
北海道川上郡弟子屈町屈斜路市街1条通14番地
015-484-2128

23 川湯エコミュージアムセンター

見学時間の目安
約30分~60分

硫黄山の過酷な自然環境を生き抜く植生を観察できる散策路「つつじヶ原自然探勝路」の出発地にあり、自然や歴史、強酸性泉の名湯川湯温泉を紹介。マツボックリのクラフトコーナーも楽しめます。

4月~10月 8:00~17:00
11月~3月 9:00~16:00
無料
毎週水曜日休館、水曜日祝日の場合翌日7月の第3週~8月31日は無休
年末年始(12月29日~1月3日)
北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2丁目2-6
015-483-4100

24 硫黄山レストハウス

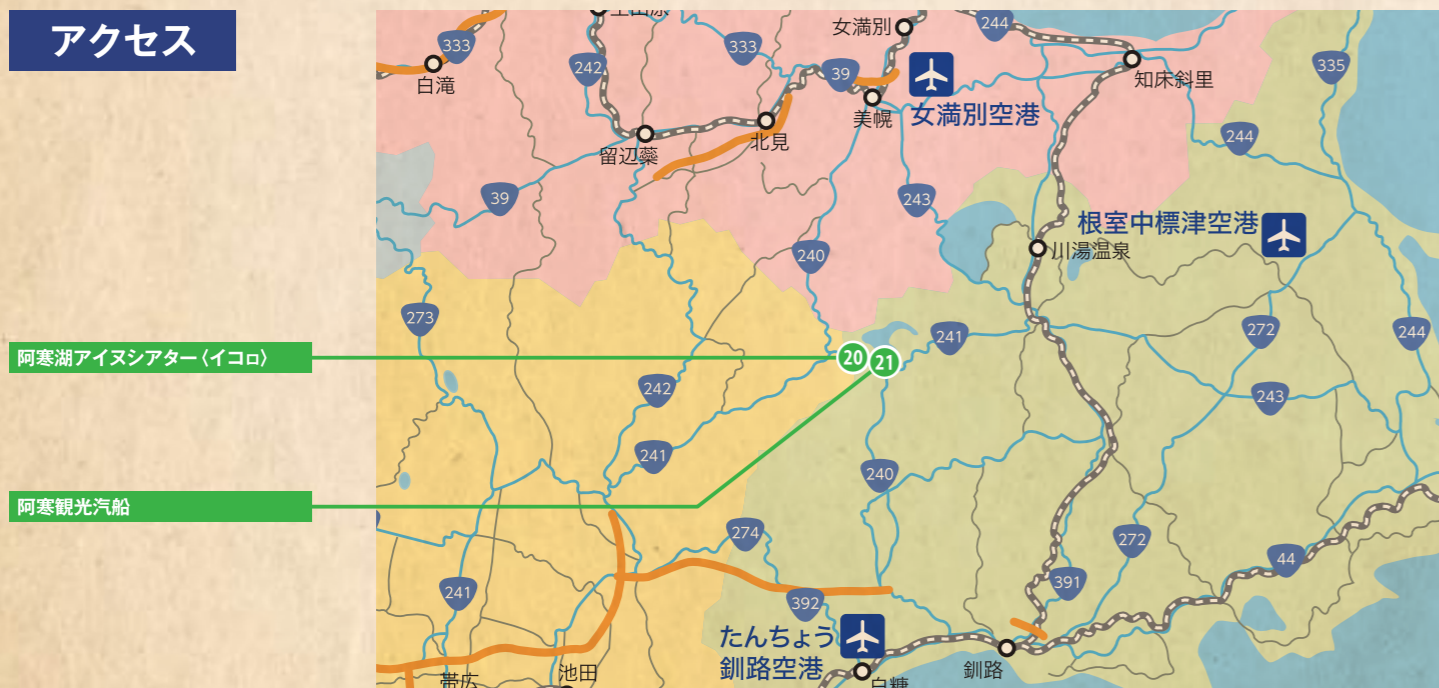
見学時間の目安
約20分

硫黄山の麓にあり、噴煙口を間近に見ることができる施設。館内には硫黄山に関する展示のほか、休憩所、お土産物や軽食の販売コーナーなどがあり、川湯温泉の源泉を使用した温泉蒸したまごは絶品です。

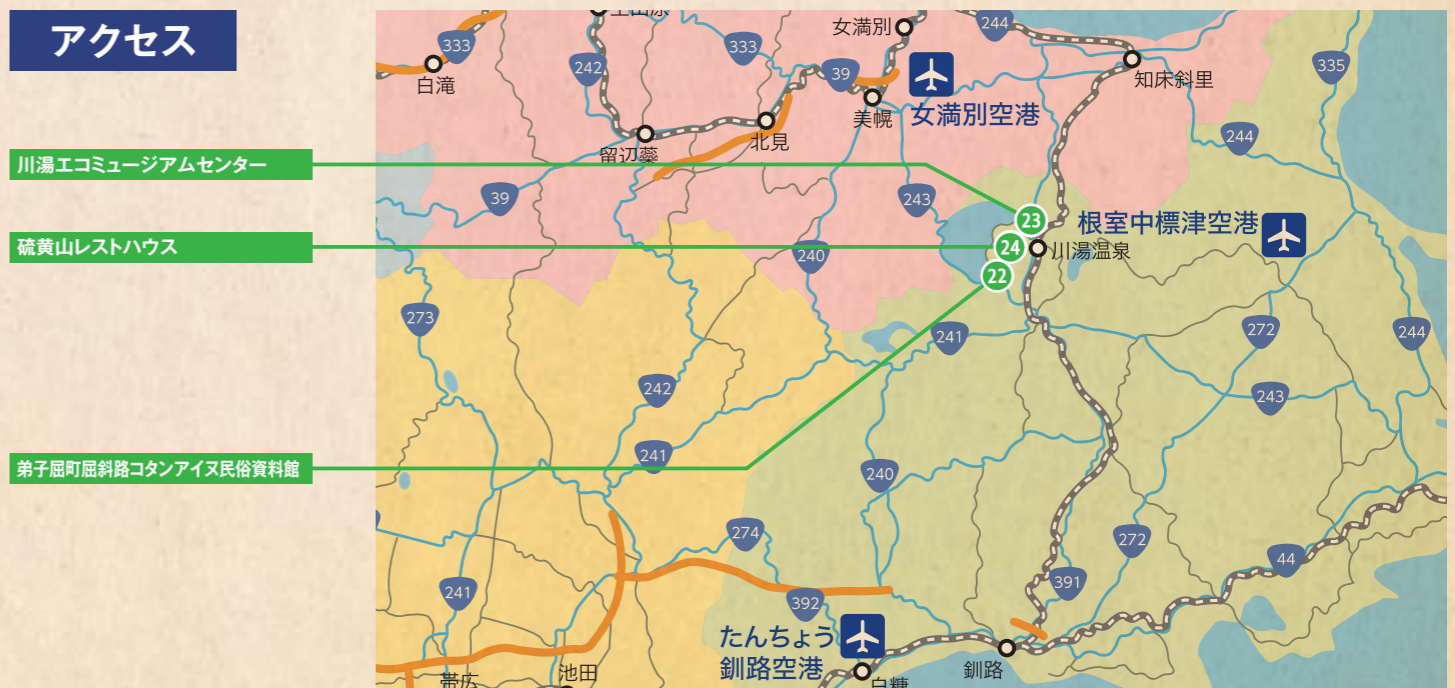
4月下旬頃~10月下旬頃 8:30~17:30
10月下旬頃~4月下旬頃
※お問い合わせください
無料(駐車場は夏期有料です)
年中無休
北海道川上郡弟子屈町川湯温泉
015-483-3511

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

アクセス



アクセス



釧路 エリア

語源は「クシル(越える道:標津や斜里へ越えていった)説、「クスリ(温泉から薬水が出た)説、「チクシル(我ら通る道:網走との往來道)説、「クシペツ、クシナイ(通り抜ける川:川が厚岸や根室などへの重要な交通路だった)説など諸説あります。

25 釧路市立博物館



タンチョウが羽ばたく姿をイメージした外観で、日本建築学会賞を受賞。釧路アイヌが使用していた樹皮衣・木綿服・魚皮靴といった衣に関するもの、しゃもじ・木鉢など食に関するもの、火鉢・炉鉤などの住に関するもの、なづち棒・鋤など生業に関するもの、耳盥・刀と刀掛帯・捧酒籠など信仰に関するものなど、多岐にわたる資料を展示。マンモスやシロナガスクジラなど、迫力ある骨格レプリカや標本も人気です。



見学時間の目安
約30分～60分

9:30～17:00
大人480円、高校生250円、小中学生110円
ホームページでご確認ください
北海道釧路市春湖台1-7
0154-41-5809

26 釧路市湿原展望台



釧路市立博物館と同じ毛織穀が設計。1Fはショップとレストラン、2Fの湿原を再現したゾーンでは幻の巨大魚「イトウ」などの動植物を復元展示。3Fの展望室と屋上からは広大な湿原や釧路の街を一望できます。国立公園の釧路湿原は国内では他に類のない特異性を持ち、特別天然記念物タンチョウをはじめとする鳥類のほか、キタサンショウウオ等貴重な動物が生息。自然散策できるバリアフリー木道で、サテライト展望台まで行くことができます。



見学時間の目安
約20分～60分

5月～10月 8:30～18:00
11月～4月 9:00～17:00
大人470円(10/1～:480円)、高校生250円、小・中学生120円
※その他の料金についてはホームページでご確認ください
年末年始
北海道釧路市北斗6-11
0154-56-2424

〈表の見方〉 営業時間 / 入館料 / 休館日 / 住所 / 電話番号

アクセス



釧路市湿原展望台

釧路市立博物館

北海道を食べる、学ぶ、体験する。

アイヌ料理を食す。



民芸喫茶 「ポロンノ」(阿寒湖)

鹿肉の汁料理「オハウ」や凍ったイモを発酵させた「ポツチェイモ」などの伝統的なアイヌ料理と、それらをアレンジした創作料理が楽しめます。

住 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉4-7-8
TEL 0154-67-2159



北海道海鮮和食と道産酒 「海空のハル」(札幌)

アイヌの伝統料理「オハウ」や「チタタブ」、北海道の海山の恵みが堪能できるお店。アイヌの伝統的な住居建築である「チセ」を模した個室で記念撮影もできます。(要予約)

住 北海道札幌市中央区南3条西4-17-3 JBOXビル5F
TEL 011-231-6868

100年前のビールを飲む。



「サッポロビール博物館」(札幌)

ビール工場の見学ができる博物館。有料のプレミアムツアーに参加すると、100年以上前の製法で作られた復刻札幌製麦酒と現代製法のサッポロ生ビール黒ラベルの飲み比べができます。

住 北海道札幌市東区北7条東9丁目1-1
TEL 011-748-1876

アイヌ文化を体験。



二風谷アイヌ文化博物館 「アイヌ文様木彫・刺繍体験」(平取町)

口琴・ムックリを木彫で作ったり、コースターにアイヌ文様を彫刻するなど、アイヌの文化に実際に触れ体験学習できます。他にアイヌ古式舞踊やムックリ演奏なども体験できます。(事前申込制)

住 北海道沙流郡平取町二風谷55
TEL 01457-2-2892